

高知県感染症発生動向調査（月報）

2018年9月

高知県感染症情報センター
 高知県衛生研究所
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第36週(9月3日～)から第39週(～9月30日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における9月の上位6疾患の合計は40.45で8月の4週間換算値40.57と比べて横ばいであった。

1位は感染性胃腸炎で13.51(8月1位4週間換算値12.99)と横ばいであった。2位はRSウイルス感染症で8.66(同3位5.99)と増加した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で5.12(同5位4.54)とわずかに増加した。4位はヘルパンギーナで4.99(同2位8.18)、5位は手足口病で4.14(同4位4.99)といずれも減少した。6位は流行性角結膜炎で4.03(同6位3.87)と横ばいだった。

成人の風疹が、関東を中心に流行拡大している。第34週から第37週(9月16日)までに、合計413例の風疹の報告があり、関東に多く、年齢は10歳代が11例、20歳代が78例、30歳代が102例、40歳代が120例、50歳代が76例で成人が主体である。その結果、本年の報告が累積で640例(うち613例が検査診断例)になった。累積数を都道府県別でみると、多い順に、東京都が196例、千葉県161例、神奈川県68例、埼玉県42例、愛知県36例、茨城県19例である。四国では、第37週までに5例(第33週と34週に香川県から1例ずつ、第36週に徳島県から1例、第37週に愛媛県から2例)の報告である。

厚生労働省は8月14日に通達を出し、「30～50歳台男性の2割程度に抗体価の低い方がいるので、この世代では風疹を意識した診療をこころがけるよう注意喚起し、特に妊娠可能年齢の女性のうち、抗体価が低い女性において任意で予防接種を受けることを推奨する」としている。2012～13年の全国での風疹流行で、45人が先天性風疹症候群を発症したことは記憶に新しい。今回の流行でも同様な事態に至らないように注意喚起と努力が必要である。

沖縄県、愛知県などで輸入例を発端に麻疹が流行していたが、新たな報告は減少した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	36週	37週	38週	39週	計
1	感染性胃腸炎		3.72	3.65	3.15	2.99	13.51
2	RSウイルス感染症		2.39	2.46	2.11	1.70	8.66
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.32	1.38	1.18	1.24	5.12
4	ヘルパンギーナ		1.66	1.45	1.04	0.84	4.99
5	手足口病		1.13	1.14	1.01	0.86	4.14
6	流行性角結膜炎		0.94	1.06	1.02	1.01	4.03

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の9月の上位6疾患の合計は45.62と8月の4週間換算値34.24と比べて増加し、全国よりも多かった。(表2)。RSウイルス感染症とヘルパンギーナの増加がその原因である。風疹、麻疹ともに、高知県では発生していない。

1位はRSウイルス感染症で14.60(8月4位4週間換算値3.35)と増加し、2位は流行性角結膜炎で9.33(同1位10.14)と横ばい、3位はヘルパンギーナで7.54(同6位2.71)と増加し、いずれも全国よりも多かった。4位は感染性胃腸炎で5.80(同2位8.34)と減少し、全国よりも少なかった。5位は手足口病で5.49(同3位6.54)と減少したが全国よりも多かった。6位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.86(同5位3.14)と横ばいで全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	週	36週	37週	38週	39週	計
1	RSウイルス感染症		3.10	4.00	4.27	3.23	14.60
2	流行性角結膜炎		1.67	4.33	2.00	1.33	9.33
3	ヘルパンギーナ		1.67	2.53	1.47	1.87	7.54
4	感染性胃腸炎		1.50	1.27	1.50	1.53	5.80
5	手足口病		2.03	1.23	1.50	0.73	5.49
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.90	0.73	0.53	0.70	2.86

2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 29名 (8月 1名)。中央西で27名、高知市、須崎で各1名報告された。1～4歳が9名、5～9歳が12名、成人が8名報告された。定点当たり報告数は36週から39週まで、0.17、0.21、0.17、0.06と増加の一途をたどる経過ではなく、また、季節的にも早いので、本格的な流行期に突入する可能性は高くないと推測される。全例がA型と報告されていて、ウイルスとして「その他」の臨床診断の者から、A/H1pdm09が1件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 70名 (8月 93名)。減少傾向とはいえ多めの数字で推移している。安芸をのぞく県下全域から報告があり、とくに幡多、中央西、高知市の順に多かった。ウイルスは咽頭結膜熱からAdenovirus 8型が1件、感染性胃腸炎から2型が1件検出されている。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 86名 (8月 118名)。平年並みの報告数である。安芸をのぞく県下全域から報告があり、高知市、須崎、幡多、中央西、中央東の順に多かった。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 174名 (8月 313名)。例年と比べ少なめの報告数である。県下全域から報告があり、とくに高知市、中央東、安芸からの報告が多い。病原体は、Adenovirus 2型が1件検出された。

5) 水痘

報告数 10名 (8月 49名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。須崎、中央東、高知市、中央西から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 165名 (8月 245名)。初夏に流行が始まる感染症で、2017年は5月から流行が開始し、過去10年で最大の流行となった。8月以降は減少増加をくりかえし、2018年に入っても完全に終息しないまま、5月から再び流行期に突入したが、昨年より流行規模は小さく平年並みであった。県下全域から報告があり須崎、高知市、安芸、中央東でとくに多く表記の順であった。ウイルスはEnterovirus 71が昨年10月4件、11月2件、12月1件、本年1月2件、2月1件、4月に2件、5月に2件、6月は5件、7月は8件、8月は3件、9月も1件検出された。Coxsackievirus A16の検出が7月1件、8月5件、9月4件と遅れて目立ってきている。

7) 伝染性紅斑

報告数 24名 (8月 27名)。平年並の推移である。須崎、中央西、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。当該診断の患者からRhinovirusが1件検出されたが、不明発疹症の幼児からHuman parvovirus B19が2件検出されている。

8) 突発性発疹

報告数 30名 (8月 55名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 226名 (8月 102名)。例年6-7月から流行がみられるが、本年は遅れて8月から増加してきた。そのため、9月としては過去10年間で最多の報告数だった。県下全域から報告され、とくに幡多、高知市、中央西、中央東、須崎、安芸の順に多かった。ウイルスはCoxsackievirus A4、A9が各1件検出された。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 3名 (8月 9名)。幡多、中央西から報告された。昨年夏以降は、過去10年で最も少ない数字で推移している。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 438名(8月 126名)。2017年の8-9月は季節外れの爆発的流行となった。9月は過去10年間ですべての月間報告数のうちで最多であったが、10月は減少に転じ11月以降は半減、以後は徐々に減少していた。2018年も昨年同様に夏季からの流行開始で、9月としては昨年に次ぐ大きな流行になった。県下全域から報告があり、とくに、高知市、幡多、須崎から多く報告された。RSウイルスは計5件検出された。

12) 流行性角結膜炎

報告数 28名(8月 38名)。過去10年間で最大の報告を記録した。高知市から報告された。ウイルスは検出されていないが、臨床の間では眼脂からアデノウイルス抗原が検出されることが多く経験される。

13) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(8月 0名)。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

14) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(8月 0名)。前年から少ない報告数で推移している。

15) マイコプラズマ肺炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 11名(8月 14名)。高知市から報告された。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 15名(8月 14名)。例年並みの変動の範囲である。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名(8月 0名) 20018年は報告は1例もない。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例の報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患(平成30年9月)

類型	病名	報告月									総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	結核	4	11	14	12	8	6	8	6	5	74
3	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	1	4
4	日本紅斑熱				1	4	3	2		1	11
	レジオネラ症		1						2	3	6
	重症熱性血小板減少症候群					4	1				5
5	アメーバ赤痢						1			2	3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1		1		5	6	2	16
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1								1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1			1		1		1	6
	後天性免疫不全症候群	2		3	2	1					8
	ジアルジア症		1								1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1	1	2		1		1	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	3		2	1			1		13
	水痘(入院例に限る)									1	1
	播種性クリプトコックス症	1	2							1	4
	梅毒	3	1	1	2	3	1	1	3	2	17
	百日咳	13	24	16	16	35	11	21	18	6	160
		総計	32	45	36	36	60	23	40	40	24

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2018年

9月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ			1	27	1		29	1	1
小児科	咽頭結膜熱		6	27	13	1	23	70	93	48
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	60	5	5	9	86	118	103
	感染性胃腸炎	11	49	92	1	7	14	174	313	376
	水痘		3	4	1	2		10	49	25
	手足口病	10	32	58	10	49	6	165	245	89
	伝染性紅斑		1	6	2	15		24	27	1
	突発性発疹		4	21	2	1	2	30	55	41
	ヘルパンギーナ	11	49	90	22	13	41	226	102	36
	流行性耳下腺炎				1		2	3	9	8
	RSウイルス感染症	2	34	249	20	35	98	438	126	660
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			28				28	38	
STD	性器クラミジア感染症			2				2	1	3
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎			11				11	14	3
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1	2	2
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			1				1	2	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	1	11			1	15	14	35
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		36	186	662	104	129	196	1,313	1,209	1,431
前月		49	180	609	85	74	212			
前年同月		51	182	709	75	82	332			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

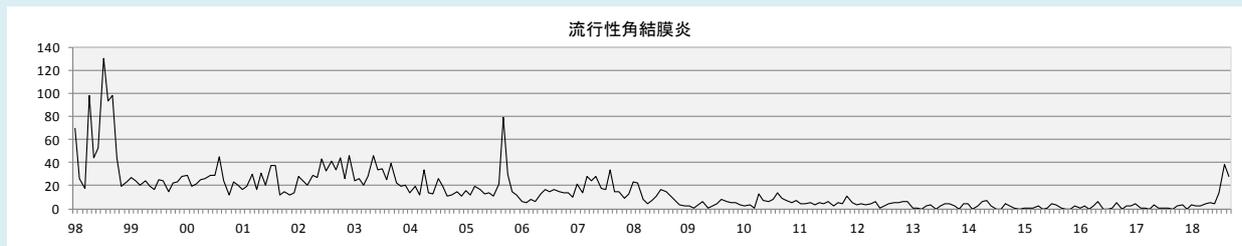
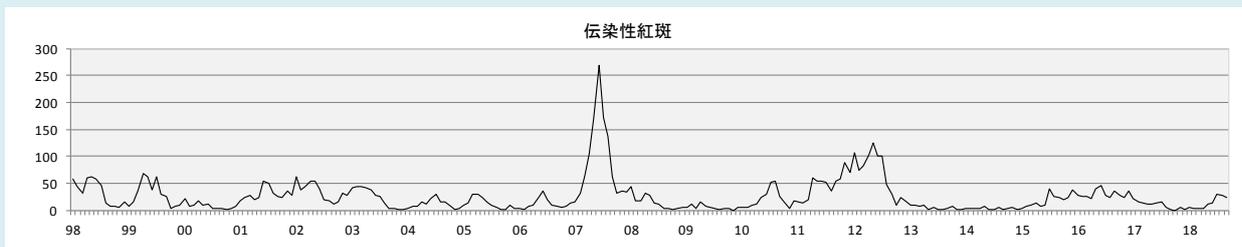
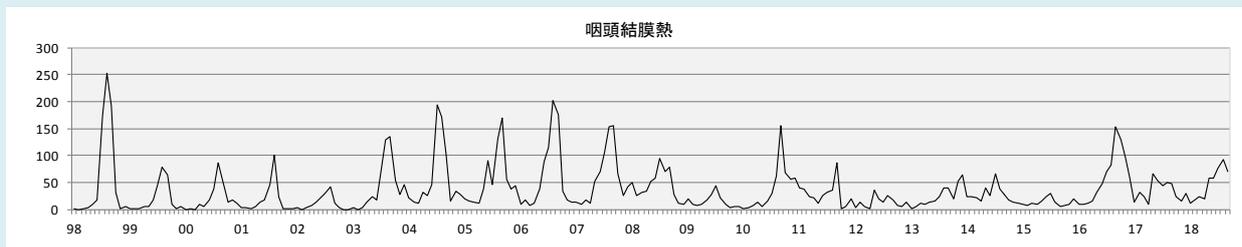
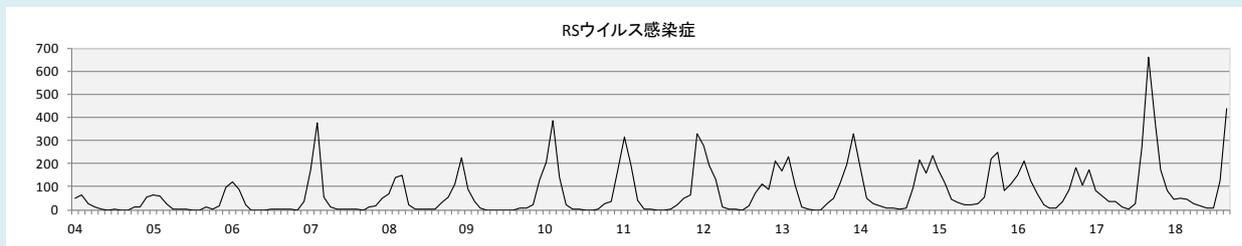
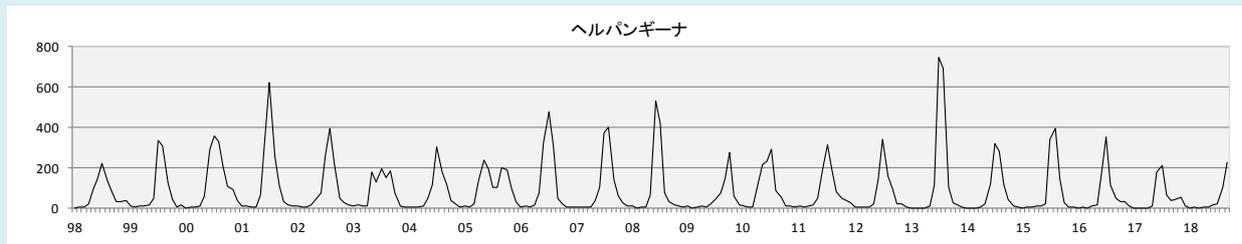
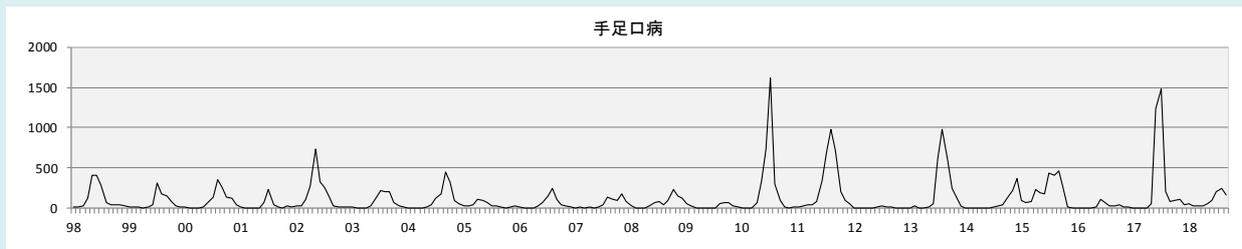
2018年

9月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ			0.06	5.40	0.25			0.61	0.02	0.02
小児科	咽頭結膜熱		0.86	2.45	4.33	0.50	4.60		2.33	3.10	1.60
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	5.45	1.67	2.50	1.80		2.86	3.93	3.44
	感染性胃腸炎	5.50	7.00	8.37	0.33	3.50	2.80		5.80	10.43	12.53
	水痘		0.43	0.36	0.33	1.00			0.33	1.63	0.84
	手足口病	5.00	4.57	5.27	3.33	24.50	1.20		5.49	8.18	2.97
	伝染性紅斑		0.14	0.54	0.67	7.50			0.80	0.90	0.03
	突発性発疹		0.57	1.90	0.66	0.50	0.40		1.00	1.83	1.36
	ヘルパンギーナ	5.50	7.00	8.18	7.34	6.50	8.20		7.54	3.39	1.19
	流行性耳下腺炎				0.33		0.40		0.10	0.30	0.26
	RSウイルス感染症	1.00	4.86	22.64	6.66	17.50	19.60		14.60	4.19	22.00
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			28.00					9.33	12.68	
STD	性器クラミジア感染症			1.00					0.33	0.17	0.50
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ										
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎										
	マイコプラズマ肺炎			2.20					1.39	1.76	0.38
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20					0.13	0.25	0.26
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			0.20					0.13	0.26	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.00	1.00	2.20			1.00		1.88	1.75	4.38
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		17.00	26.43	55.22	31.05	64.25	39.00		41.46	37.90	46.24
前月		24.50	24.83	49.61	28.35	37.00	42.00				
前年同月		21.50	25.70	61.97	25.01	41.00	65.20				

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)
平成30年9月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

9月はウイルス62件、細菌4件の搬入があり、そのうちウイルス36件の病原体を検出し、また、平成30年8月に搬入された検体でウイルス20件、細菌1件、7月に搬入された検体でウイルス2件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 1件、Adenovirus 2 2件、Adenovirus 8 2件、Coxsackievirus A4 4件、Coxsackievirus A9 1件、Coxsackievirus A16 8件、Echovirus 25 1件、Enterovirus 71 3件、Herpes simplex virus 1 1件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 3件、human parvovirus B19 3件、Influenza virus A H1pdm09 1件、Parainfluenza virus 3 1件、Parechovirus 1 1件、Parechovirus 3 1件、Respiratory syncytial virus 6件、Rhinovirus 16件、また、細菌の内訳は *Salmonella Enteritidis* 1件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	2	男	伝染性紅斑	38℃,下痢,発疹,	ぬぐい液	7/17	Rhinovirus
2	2	男	気管支炎	40℃,咳嗽,上気道炎,気管支炎,	鼻汁	7/24	Adenovirus 1 Rhinovirus
3	4	女	手足口病		ぬぐい液	7/25	Rhinovirus
4	1	女	上気道炎	39℃,上気道炎,発疹,	ぬぐい液	7/31	Herpes simplex virus 1
5	1	男	手足口病	38℃,発疹,	ぬぐい液	8/1	Coxsackievirus A16
6	6ヶ月	男	—	嘔吐,嘔気,	ふん便	8/2	Parechovirus 1
7	9ヶ月	男	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	ふん便	8/4	Adenovirus 2
8	4	女	手足口病	41℃,咳嗽,上気道炎,	鼻腔	8/9	Coxsackievirus A16
9	1	男	ヘルパンギーナ	38℃,	髄液	8/12	Human herpes virus 6
10	4	男	咽頭結膜熱	41℃,下痢,	ぬぐい液	8/14	Adenovirus 8
11	3	女	咽頭結膜熱、無菌性髄膜炎	40℃,	ぬぐい液	8/14	Human herpes virus 6
12	9	女	—	38℃,嘔吐,嘔気,	ぬぐい液	8/15	Human herpes virus 7
13	6ヶ月	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	8/22	Enterovirus 71
14	9	女	感染性胃腸炎	—	ふん便	8/24	Salmonella Enteritidis
15	7	女	不明発疹症	38℃,発疹,	ぬぐい液	8/24	Human herpes virus 7
16	1ヶ月	女	下気道炎	38℃,下気道炎,	鼻汁	8/27	Respiratory syncytial virus
17	2	女	ヘルパンギーナ	40℃,上気道炎,気管支炎,口内炎,	ぬぐい液	8/27	Human herpes virus 6
18	1	女	手足口病	発疹,口内炎,	ぬぐい液	8/27	Coxsackievirus A16
19	3	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	8/27	Coxsackievirus A16
20	10	男	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	8/27	Enterovirus 71
21	2	男	手足口病	36℃,発疹,	ぬぐい液	8/27	Human herpes virus 7
22	1	男	喘息	38℃,咳嗽,気管支炎,	鼻咽腔	8/27	Rhinovirus
23	3	女	咽頭結膜熱、呼吸器感染症	39℃,咳嗽,発疹,結膜炎,	鼻咽腔ぬぐい液	8/28	Rhinovirus
24	11ヶ月	男	手足口病	38℃,発疹,口内炎,	うがい液	8/28	human parvovirus B19 Coxsackievirus A16
25	2	男	ヘルパンギーナ	41℃,咳嗽,上気道炎,口内炎,	ふん便	8/29	Coxsackievirus A9
26	1	女	不明発疹症	40℃,下痢,発疹,	ぬぐい液	8/29	Rhinovirus
27	1ヶ月	女	急性咽頭炎	39℃,	髄液 ぬぐい液	8/30	Parechovirus 3 Rhinovirus
28	1	女	手足口病	37℃,発疹,口内炎,	ぬぐい液	8/30	Coxsackievirus A16
29	0ヶ月	女	—	37℃,	ふん便	8/31	Rhinovirus
30	1	女	不明発疹症	39℃,発疹,	ぬぐい液	8/31	human parvovirus B19
31	4	男	—	41℃,咳嗽,	ぬぐい液	9/1	Echovirus 25
32	1	男	—	39℃,	ぬぐい液	9/3	Coxsackievirus A4
33	2	女	ヘルパンギーナ	39℃,上気道炎,口内炎,	ぬぐい液	9/3	Coxsackievirus A4
34	1	男	手足口病	40℃,発疹,	ぬぐい液	9/3	Coxsackievirus A16
35	0ヶ月	男	無菌性髄膜炎疑い	38℃,発疹,	髄液	9/3	Rhinovirus
36	8	男	—		ふん便	9/6	Rhinovirus
37	1	女	RSウイルス感染症、呼吸器感染症	41℃,咳嗽,気管支炎,	鼻咽腔ぬぐい液	9/6	Coxsackievirus A4 Respiratory syncytial virus
38	3ヶ月	女	胆道閉鎖症疑い		ふん便	9/6	Rhinovirus
39	3	男	不明発疹症	37℃,発疹,	ぬぐい液	9/6	human parvovirus B19
40	1	女	インフルエンザ様疾患	39℃,下気道炎,	鼻汁	9/7	Coxsackievirus A4

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
41	7	女	咽頭結膜熱	結膜炎,	ぬぐい液	9/7	Adenovirus 8
42	1	女	手足口病	38°C,発疹,	ぬぐい液	9/7	Enterovirus 71
43	10ヶ月	男	不明熱	40°C,	ぬぐい液	9/7	Rhinovirus
44	8ヶ月	男	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,肝機能,	ふん便	9/8	Adenovirus 2
45	2	女	IgA血管炎	38°C,腹痛,	ぬぐい液	9/10	Rhinovirus
46	3	女	RSウイルス感染症	38°C,下気道炎,	鼻腔	9/10	Respiratory syncytial virus
47	1	女	手足口病	39°C,口内炎,	ぬぐい液	9/10	Coxsackievirus A16
48	8	女	伝染性紅斑 不明発疹症	咳嗽,発疹,	ぬぐい液	9/11	Rhinovirus
49	5	男	川崎病疑い	39°C,	ぬぐい液	9/12	Rhinovirus
50	0ヶ月	男	上気道炎	38°C,上気道炎,	ぬぐい液	9/13	Rhinovirus
51	1	男	上気道炎	40°C,咳嗽,上気道炎,	ぬぐい液	9/14	Parainfluenza virus 3
52	3	女	下気道炎	40°C,下気道炎,	鼻汁	9/18	Respiratory syncytial virus
53	1	男	RSウイルス感染症	39°C,咳嗽,気管支炎,	鼻腔	9/18	Respiratory syncytial virus
54	3	女	インフルエンザ様疾患	40°C,咳嗽,	ぬぐい液	9/20	Influenza virus A H1pdm09
55	1	女	気管支炎	40°C,下痢,咳嗽,上気道炎,下気道炎,気管支炎,	鼻咽頭	9/21	Respiratory syncytial virus

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2018年									2018年 総計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes T1</i>			1			1		1		3
	<i>Streptococcus pyogenes T3</i>			1							1
	<i>Streptococcus pyogenes T4</i>				1		1		1		3
	<i>Streptococcus pyogenes T12</i>						1				1
	<i>Streptococcus pyogenes TB3264</i>					2		1	1		4
	計			2	1	2	3	1	3		12
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	17	12	7	1	1					38
	Influenza virus A H1pdm09	28	3		1						32
	Influenza virus B /Victoria	3	1		2						6
	Influenza virus B Yamagata	21	7	4	3						35
	計	69	23	11	7	1					111
咽頭結膜熱	Adenovirus 1	1					2				3
	Adenovirus 2	1	1		2	1		1			6
	Adenovirus 8								1	1	2
	Cytomegalovirus					1					1
	Herpes simplex virus 1							1			1
	Human herpes virus 6								1		1
	Rhinovirus			1						1	2
	計	2	1	1	2	2	2	2	2	2	16
感染性胃腸炎	Adenovirus 2			1		1		1	1	1	5
	Adenovirus 40/41				1						1
	Adenovirus 41				1	2	1				4
	Astrovirus NT			1			1				2
	Coxsackievirus A9							1			1
	Echovirus 7							1			1
	Enterovirus 71					1					1
	Human metapneumovirus							1			1
	Norovirus GI NT				1						1
	Norovirus GII NT	5	1	1	3	2	2	2	2		18
	Rotavirus group AG9				1		1				2
	Rhinovirus							1			1
	Sapovirus genogroup unknown	2			2	4	1	1	3		13
	<i>Salmonella Enteritidis</i>						1	1	1		3
計	7	1	3	9	11	6	9	7	1	54	

臨床診断名	病原微生物	2018年									2018年 総計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A2								1		1
	Coxsackievirus A4									1	1
	Coxsackievirus A9							1		1	2
	Cytomegalovirus					1					1
	Human herpes virus 6								2		2
	Parainfluenza virus 3								1		1
	計					1		1	4	2	8
手足口病	Adenovirus 1				1			1			2
	Coxsackievirus A9							1	1		2
	Coxsackievirus A16							1	5	4	10
	Cytomegalovirus							1	1		2
	Enterovirus 71	2	1		2	1	3	6	2	1	18
	Echovirus 7				1						1
	Epstein-Barr virus	1									1
	Human herpes virus 6					1					1
	Human herpes virus 7						2		1		3
	Human parvovirus B19									1	1
	Herpes simplex virus 1				1	2		1			4
Rhinovirus						3	5			8	
	計	3	1		5	4	8	16	10	6	53
流行性角結膜炎	Adenovirus 2										
	Astrovirus NT							1			1
	Rhinovirus						1				1
	計						1	1			2
伝染性紅斑	Cytomegalovirus					1					1
	Coxsackievirus A9							1			1
	Herpes simplex virus 1							1			1
	Human herpes virus 7								1		1
	Human metapneumovirus			1							1
	Rhinovirus							1		1	2
	計			1		1		3	1	1	7
流行性耳下腺炎	Mumps virus										
	Parechovirus 1							1			1
	計							1			1
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4	1									1
	Human herpes virus 7							1			1
	Herpes simplex virus 1							1			1
	Parechovirus 3							1			1
	計	1						3			4
マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>										
	計										
RSウイルス感染症	Coxsackievirus A4									1	1
	Respiratory syncytial virus								1	3	4
	Respiratory syncytial virus A	1									1
	Respiratory syncytial virus B					1					1
	Rhinovirus					1					1
	計	1				2			1	4	8
水痘	Varicella-zoster virus										
	計										
突発性発疹	Cytomegalovirus					2					2
	Enterovirus 71						1				1
	Human herpes virus 6	1			1						2
	計	1			1	2	1				5

